

全国の行政では、行政の施策としてこのＬＥＤ化を短期間にされているというところもありますし、また、この補助制度を見直して補助率のアップ、この３分の２の補助で上限を２万円とか、あるいは２万５，０００円、とにかく、かなり踏み込んだ対応をされておりますので、見直しの際には、それらも参考にして、もう一步踏み込んだ要綱をつくっていただきたいというふうに考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

○産業部長（齊藤隆一君）

金曜日の保坂議員のご質問でもお答えしておりますが、いろいろ取り巻く状況も大きく変わってきているところもありますので、今ほどの答弁も含めましてですけれども、助成のあり方につきまして、部内で早急にまた検討していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺議員。

○４番（渡辺重雄君）

私はこの中山間地域に関する諸問題、今までも何回か取り上げさせていただいております。意見や要望を申し上げてはありますが、そしてかなり大きく支援をしていただいて、非常に助かっております。

市民の中には、この中山間地域にお金がかかり過ぎるというようなお話も聞こえてはいるんですけども、市当局におかれましては数多くの施策を講じていただいておりますし、また、いろんな面で改善されてきております。今回、新たに取り上げた課題もございますが、いずれも生活するために、また、生きるために必要な基本的なお願いでありますので、よろしくをお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（倉又 稔君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

次に、五十嵐健一郎議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。〔１７番 五十嵐健一郎君登壇〕

○１７番（五十嵐健一郎君）

おはようございます。

清政クラブの五十嵐健一郎です。

通告書に基づき一般質問をさせていただきます。

１、糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略についてでございますが、岩手県の紫波町、盛岡市の南に位置するんですが、人口３万人強でありまして、２００９年から駅前一帯で展開されている開発事業、オガールプロジェクト、これは公民連携による地域活性化の手本として、全国から注

目を集めています。

最大の特徴は、役所、図書館などの公共施設と、産直市場やフットボールセンターなどの民間施設を一体的に民間が自主資金で開発、運営しています。民間がリスクを負って投資家や金融機関から投融資を集め、テナントを集めて経営しています。町有地を民間に貸し出し、家賃収入を得ることができる。民間施設内では雇用も生み出され、産直市場の設置によって地元農産物の流通も拡大し、結果的に農家所得の向上にもつながっています。つまり町全体が確実に豊かになっています。盛岡や花巻などからも客が押し寄せ、オガールプラザは2012年6月に開業、町営の図書館と地域交流センター、産直直送の市場、紫波マルシェ、飲食店、学習塾、クリニックなどの民間施設が同居しています。

事業用定期借地権イコール民間の借り受け、計画から開発、管理運営までを一貫して、オガ株と言いまして必要資金の有志の出資と地銀からの融資で賄い、税金は1銭も使っておりません。公民連携事業機構を立ち上げ、全国でも推進しております。

初期投資、維持管理両方の問題を解決、地域の新たな稼ぎの柱、しっかりもうけるインフラでありまして、鍵は消費を目的としない集客を先に固めたこと。民間で施設開発することが可能になる、公共性と市場性が一致するという考えのもとで進めていく必要がある。自立した民間がリスクを負い、さらに現代に即した身の丈に合ったやり方で開発を担えば問題が解消。箱物よりコンテンツ、つまり入居するテナントを決定することを優先、先回り営業が公民連携でも役立つものであります。

また、同じく岩手県の紫波町が取り組んでいる地域内経済循環の構築で、平成22年からCO₂排出削減の取り組みを行う個人、団体に対してエコクーポン券を支給、間伐材の搬出作業にも同クーポン券を発行しております。

地域の里山林は広葉樹のほかアカマツが多い。松枯れ被害が広がっているため、紫波町では森林所有者の合意形成を図り、森林、山林多面的機能発揮対策交付金を活用しているということで、里山林の整備は森林所有者が行い、月に1回、有志により結成された間伐材を運び隊が材を搬出し、集積所に運ぶと。また、自伐林家がみずから間伐材を集積地へ搬出する取り組みも進められています。運んだ材は薪やチップにして、町内の温泉施設のボイラー等で活用されているということで、地方創生の特別委員会でもすばらしい意見や質疑が交わされていますが、せっかくの機会ですので、1人の議員としての質問、提案でありますので、何とぞよろしくお願い申し上げまして、以下の項目によりお伺いいたします。

- (1) 「プロフェッショナル人材」の地方還流及び専門家を活用した地域ブランド戦略の検討。
- (2) 地元産品販路拡大支援事業（地元産品PR、販売支援、アンテナショップ開設等）。
- (3) 若者人材等の還流及び育成・定着支援。
- (4) 地域の歴史・町並み・文化・芸術・スポーツ等による地域活性化。
- (5) ICTの利活用による地域の活性化。
- (6) 商店街賑わい創出事業（中心市街地の活性化）及び駅南の活性化策。
- (7) 奨学金制度等創設に向けた調査研究及びものづくりに携わる人材育成の推進。
- (8) 企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大。

企業の地方拠点強化策。

政府関係機関の地方移転。

遠隔勤務（サテライトオフィス、テレワークの促進）。

(9) 地方居住の本格推進（「お試し居住」を含む「二地域居住」の本格支援、住み替え支援）及び三世帯同居・近居子育て環境向上に向けた取り組み。

(10) 公共施設等総合管理指針策定及び公共施設・公的不動産の利活用についての民間活力の活用。

(11) 地域公共交通網形成計画の策定（大系線の電化、F G T（フリーゲージトレイン）・D M V（デュアルモードビーグル）の導入などの取り組み）。

(12) 消防団の充実強化・I C T利活用による、住民主体の地域防災の充実。

以上で1回目の質問とさせていただきます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

五十嵐議員のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、新商品開発などを行うためには、プロフェッショナル人材のノウハウの活用も手段の1つであると考えます。

また、イメージや付加価値を高めていくことが地域インフラ戦略につながりますので、糸魚川らしさの創出と魅力の情報発信を推進してまいります。

2点目につきましては、これまで地元産品の情報発信、首都圏を中心とした物販イベントやアンテナショップの設置など、知名度アップと販路拡大に取り組んできたところであり、今後も精力的に展開してまいります。

3点目につきましては、市内高校や進学先、地元企業との連携により、Uターン、定住を進めてまいります。

4点目につきましては、伝統文化や文化芸術、スポーツ等活動を支援をすることによりまして、活気のあるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

5点目につきましては、今後、総合戦略の基本目標達成のために、I C T活用が不可欠な事業については、検討してまいりたいと考えております。

6点目につきましては、糸魚川広域商店街において、なりわいづくりの計画が策定されており、今後、事業の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

また、駅南の活性化策につきましては、空き地等が適切に活用されるよう、調査研究してまいります。

7点目につきましては、Uターンを促進するため、優遇制度について調査、検討をしてまいります。

また、ものづくりに携わる人材育成について資格試験や人材育成研究に対する助成の拡充について検討してまいります。

8点目の1つ目につきましては、国において企業の地方拠点強化税制が創設されるとしておりますので、県と連携をとりまして対応してまいりたいと考えております。

2つ目につきましては、国や県へ情報収集いたしました。現状では難しいものと考えておりま

す。

3つ目につきましては、遠隔勤務による移住は歓迎するものであり、移住される方のニーズに応じて支援をしてまいりたいと考えております。

9点目につきましては、移住や就業体験の実施により、U I ターン定住につなげていきたいと考えております。

また、3世代同居や近居による子育てなどを支援することが重要と考えております。

10点目につきましては、施設の適正配置や利活用についての方針を定めるものであり、資産の利活用については、できるだけ民間活力を活用してまいります。

11点目につきましては、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通網を再構築する計画を策定するものであります。

12点目につきましては、消防団拠点化計画の推進や、消防行政無線等の情報伝達手段を整備してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もでございますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ありがとうございました。

特別委員会を何回か開かせていただいて、時間の余裕があんまりなかったんで、せっかくの機会ですんで質問させていただきますが、プロフェッショナル人材ですね、いろんな形で行っているところもございますが、平成26年6月24日に閣議決定され、「日本再興戦略」2014改訂において、地域の中小企業における戦略産業創出の担い手としての企業OB等人材活用が挙げられており、若者にとどまらず能力、意欲のある多様な人材と、中小企業、小規模事業者との多様なマッチングが急務であるとしております。市としてどのように取り組んでいくのか、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

政府におきましては、地域の中小企業、小規模事業者のニーズを把握することにより、若者、女性、シニアの多様な人材から企業が必要とする人材を発掘するということで、地域中小企業人材バンクを実施しておるところでありまして、県内におきましても3月に、地域人材コーディネート機関が設置されたところであります。

市のほうといたしましても当該機関と連携しながら、能力、意欲のある多様な人材と、中小企業、小規模事業者との多様なマッチングを進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○ 17番（五十嵐健一郎君）

ぜひお願いしたいと思いますし、県内でコーディネート機関、その辺の具体的な機関を教えてください。ただきたいのと、何年か前ですが、静岡県富士市の産業振興センター f - B i z というのを政務調査させていただいた折に、やっぱり次から次へと企業が懇談をして、すばらしい企業に成り変わっておるということが続々出ている。本当に糸魚川を考えれば、やっぱり人だと思ふんです。人が企業を生み、いろいろなつながり、誰と誰を結びつけるか、人と人とのコーディネートが誰がするか。やっぱりこのプロフェッショナル人材が必要だと、こう思っと思ふんですが、その辺はいかがお考えで、この総合戦略に結びつけていくのか、お伺いしたいと思ふんですが。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

まず初めに、県内のコーディネート機関でありますけども、新潟市内におけます新潟県中小企業団体中央会、それから学校法人新潟創造学院、この2つがコーディネート機関として位置づけられております。

今、五十嵐議員が言われます後段のほうの人材活用、マッチングということでもありますけども、この4月から当企業支援室におきまして、企業支援相談員という部分が人事異動でほかの課へ移りました。私としましては、企業支援室2人1チームで、ともかく今まで訪問してない企業を訪問しようということを企業支援室のほうに指示をいたしまして、今、2人ペアで春先から回っておるところでございます。

回った企業のほうからは、よくおいでいただいたというふうなことで、お話をいただいとるところでありますけども、そういう機会をとらえながら、マッチングを進めていくという姿勢で取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○ 17番（五十嵐健一郎君）

ぜひ。合併して10年、企業支援室もかなり年数もたつと。一番私は地方の雇用が課題だと、雇用をふやすには、やっぱり企業が元気でないとだめだと思ふんですが、10年前の総合計画のアンケートを見ますと第1位が雇用確保、やっぱりこの10年間、どれだけ企業がふえて、どれだけ従業員がふえたのか、その辺の中身というのはどんな状況なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

10年間の成果でどれくらいの雇用がふえ、どれくらいの企業数がふえたかということにつきましては、今現在、数値的なものは持ち合わせておりませんが、糸魚川地域における企業誘致活動と

というのは非常に難しく、困難が多いと思っております。

この地方創生におけます各団体との意見交換の中におきましても、私としましては経済団体連合会の幹部の皆さんにお願いを申し上げてきたのは、今までの企業誘致活動プラス経済界の皆さん方が、いろんな縁で、いろんなつながりがあるかと思います。そういうところにおいても皆さんから企業誘致の情報発信をしていただく、いわゆる糸魚川版の企業誘致情報の発信というのが必要でないかなというふうに思っております、まさしく市長が掲げておりますチーム糸魚川によって企業誘致の情報、企業誘致活動をするというのが、糸魚川版の企業誘致として必要でないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

本当に総合戦略でも出てくるチーム糸魚川、チーム市役所、その辺を考えると、私も何回かお話ししてる栃木県足利市ですか、これは市役所職員全員が企業誘致をすると。1人1社訪問して、どうなのか情報収集しながら今度はどう拡大するのか、その辺の世間話もしながら、素晴らしい取り組みだと思うんです。やっぱり企業支援室2人が回ってるぐらいじゃ、私は結びつかないと思うんで、各団体がそれぞれやっとなんですが、自分たち企業がなかなか手いっぱいなんで、そこまで結びつかないと思うんで、その辺も含めてチーム市役所の役割というのはいろいろあるかと思うんですが、その辺で結びついた、今回、企業とかありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

チーム市役所として糸魚川市の目指す姿に向かって、今、人口減少対策が大きな課題であります。そういう意識を持ちながら、それぞれの業務、それからほかの関連する課の業務を連携して取り組んでいくということでありまして。そういう中の1つに、議員がおっしゃられる企業誘致についての情報を得るようにということも含まれると思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ちょっと外れたわけですが、本当のプロフェッショナル人材、この確保は来年からとかいろいろな形で、どう進めていくのかお伺いしたいと思うんですが、その辺の国や県とかのコンシェルジュも含めて、どういう形でやっていこうとしてるのかお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

プロフェッショナル人材の活用、コンシェルジュの活用、非常にこれから当市としてもしっかりと情報収集し、どのように活用していけるか、糸魚川流でどういうふうに活用していけるかというところは、これから大きな課題だと思っていますし、しっかりと調査してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひ調査研究して、もう行動に移してもらいたいと思います。

それと雇用確保が一番大事になってくると思うんですが、農業、1次産業も含めて、その辺の人材派遣や、いろいろな形の確保とかお願いとか、そういうのは国とか県はやってないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

当市におけます1次産業の共通の課題としては、3つ整理してみました。1つは担い手でありまず。2つ目は基盤、3つ目が価格、利用の面だと思っております。

特に、1次産業でいいますと、一般的な流通である市場や集荷業者に頼り切ってしまって、みずから販売、加工というところが不得意なところが考えられます。

1次産業と製造業とか連携することによって、生産システムの合理化、これによって企業組織的な就業形態をとることが可能となるわけであります。そこに雇用が生まれるということでありますので、そのような流れをしっかりと糸魚川市内に取り入れていきたいと思ひますし、そういう取り入れる中におきましては、今言われるようなプロフェッショナル人材やコンシェルジュというものも、しっかりと活用していきたいというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

やっぱり人だと思ひますよ、人。市役所職員ができないことをやっていただくような、やっぱりその辺の働きかけなど、市長、やってないんでしょうか。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり糸魚川市は大きいまちではございませんので、いろんな面を通じながら情報収集し、また、そういったネットワークの中で対応できるようにしてございますが、やはり厳しい経済環境、特に

合併１０年の間の中においては、合併前にはわからなかったリーマン・ショックなどもあったりして、非常に厳しい状況の中での経済環境。このところへきて、ようやく少し地方が元気を取り戻しつつあるわけでございますので、そういった環境の中で、景気が悪いからいい部分がある面もあったかもしれんし、また、景気がよくなると全国平均の中で対応しなくちゃいけない部分で、厳しくなる部分もあるのかもしれませんが。

しかしながら、議員ご指摘のように人とのやはり交流の中で広めていくことが、一番大事だと思っておりますので、それを最大限、広げていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

ぜひお願いしたいと思います。

ブランド戦略のほうへ入るんですが、特別委員会でも松尾議員より大野市の例もいただいたりして、その中で斉藤商工農林水産課長は、今、なりわいネットも含めて６０店舗、ブランドで第２のステップへの移行でコンサルタントにお伺いしとると。行き詰まりも含めて、今度の戦略を相談しとるとということもあるんですが、この辺の今後の取り組みなんかをお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

地域産品の販路拡大支援事業の中におきましては、糸魚川なりわいネットワークの活動が３年間終わりました。ことしの春から民間組織として立ち上げていただきまして、私としましては非常に会員の皆さんの熱意を強く感じるところであります。

また、首都圏におけますアンテナショップ、これも糸魚川の協力店が約２５店舗広がってきておりまして、今まで取り組んできたなりわいネットワークのイベントにおける手応えを感じておりますけれども、糸魚川という地名の情報発信には非常に効果は出たというふうに考えておりますが、なりわいというところを考えますと、もう一踏ん張りせんきゃならん状況だろうなと思っております。

松尾議員のご質問のときにも、市内におけるコンサルタントという話を申し上げたところでありますけれども、私のところでは昨年、市内の店舗で地産地消認証店を取り組みさせていただきました。今年度も追加で３０店舗だったと思いますけれども、合算しますと約１００店舗の地産地消認証店が活動を取り組んでいただける環境になってまいりました。次にやはり私も進めなきゃならないのは、皆さんからよく言われるブランドだと思っております。ブランドと言いましても、もう既に能生のカニなんかは、私は糸魚川のブランドだというふうには考えておりますけれども、そのブランドの基準となるものをどこに置くかというところを、今、非常に当課としましては考えてるところであります。ブランドの基準を低くする、多く入ってもらう。逆にブランドの基準を高くして、本当のブランドを見詰めるというふうなところもあります。そういうようなところで、今、コンサル

+

タントにちょっと相談をさせていただきとるところでございます。

いずれにしましても、なりわいネットワークが今まで取り組んできたものを、次のステップにどのように目標を持って挑戦していくかというところが、今、非常に当課としましては考えとるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひ。そのブランドの基準ですね、それもしっかりいろいろな先進地も含めて、糸魚川流のブランドにしていきたいと、こう思っております。

それで先ほどもありました既存企業への訪問とか、やっぱり今度、電気化学工業さんが100周年ということもございます。毎年、20人から30人とかやっていただいて、ほかいろいろ企業もございます。こういう企業も含めて、やっぱり本社とかも含めて訪問とか、いろいろな形で今度どうするか。お礼参りじゃないですけど、やっぱり年に二、三回とか足を運んでどうすればいいか、地元の方々を採用していただいているんで、そのこともやっぱり必要ではないかと、こう思っておりますし、今度、本当にどうすればいいか、新たな取り組みに発展していただくと。違う関連企業なり、やっぱりそれに結びつけていくのも必要だと思うんで。

海士町で、それは漁業の関係で、カキとかそういうのに結びつけていって企業支援やって、カキカレーとかやって、年に2億円ぐらい稼いでいるということで、全国からファンを呼ぶそうなんです。ファンを全国から公募して、1口50万円ぐらいなんですけど、こういう特産物で今度はお返しというか、ふるさと納税じゃないですけどやって、7年後には、その興した企業がだめなら補償するということも聞いておりますし、10年間で430人以上移住していただいている。ぜひそういう、14企業も含めてやっていただいていると。こういう新しくやっぱり移住、定住していただくような形も必要だと思うんですが、この辺ならばいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

市内におけますセメント産業、大きく2社あるわけでありましてけども、ここの従業員、それからそこに関係する企業の従業員、その企業からの法人税、固定資産税等は、当市の財政には大きな力をいただいているというふうに考えております。議員が言われますように、そういう企業の皆さんの幹部との懇談の場もございますので、お話はしていきたいというふうに考えております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

今ありましたように地元産品拡大支援事業の中で、いろいろ含めると地域にとって本当に伸ばす

意味のある事業、包括的な販路開拓や新製品、新事業開発、地域外からの消費や投資をしっかりと呼び込む産業の育成が必要だと考えられますが、なりわいネットワークも含めていろいろな形でやっていけばいいと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

最近ですけども、東京商工会議所の千代田支部の皆さんが、ある縁で糸魚川においでいただきました。私も懇親会に同席をさせていただきましたけども、ある方が千代田支部の旅行、金沢へ行くんじゃないかなと思ってたと、ところが糸魚川だったと。糸魚川に来て企業を訪問し、また、糸魚川の地産を使った料理で非常に満足をしていただいたということもございます。

それから先般、中国大連のテレビ局もおいでいただきました。その方が言っておられましたけども、もうディズニーランドや金沢じゃなくて、こういう糸魚川のような田舎で、どのように体験できるか、どのような食を楽しめるかというところに、矛先が向いているんじゃないでしょうかねというふうなお話をいただきました。

そうしますと糸魚川における食の魅力を、そういうふうに外からおいでいただいた方の言葉を、またご意見をどのように事業に反映していくかというところが、これから大きな課題だろうと思っておりますし、その中におきましては、なりわいネットワークが民間化されて、その活動が非常に私どもとしても注目をし、一緒になって取り組んでいきたいというふうに取り組んでいるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

本当に現場へ行って、人とのふれあいも含めてぜひやっていただきたい。

それで、ちょっとどこへいくか飛ぶところもありますので、よろしくお願いしたいと思います。

商店街にぎわい創出事業で広域商店街の取り組み、計画はかなり進んでいるようなんですが、どの辺まで進行しているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（齊藤 孝君）

糸魚川駅前の商店街は5つの組織がございます。新幹線の開業を控えて、その5つの組合が駅前広域商店街というふうなことで、どのようににぎわいを出すかという取り組みに入ってくださいました。私としましては、従来、それぞれの商店街単体で動いていたものが、一体となって取り組んでいただいているというのは、非常に私としても大きな評価をしております。そういう中で新幹線開業前に、日よけのれんであったり、商店街のWi-Fi環境の整備であったりということで、開業記念事業を展開してきていただきました。

ここへきまして国の地方創生の先行型の交付金を利用して、糸魚川駅前では広域商店街の活性化計画をつくったところでもあります。ある程度、活性化の計画案ができているわけでありまして、それをいかに総合力でかち取っていくかというのが、今、事務局のほうで考えてるところであります。

もう１点、この６月３０日に糸魚川市内企業の景況調査が行われました。それでいきますと、全体としてはややよくないというふうなお話もお聞きしとるわけではありますが、糸魚川地域におきましては、卸、小売業やサービス業において、増加傾向がみられたというふうな新幹線効果も聞いております。そのようなうれしい効果もありますので、今、つくっております駅前商店街の活性化計画については、しっかりと取り組んでいただきたいなというふうに、私どものほうとしてもお手伝いしていくつもりであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

それで駅北はかなり本当にいろんな形でやっていただいて、今、やってるということなんですが、駅南のほうですね、こっちは特別委員会でも古畑議員からもありましたように、こっちをいろいろ含めて空き家で、ミニ土地区画整理、地域計画の見直しとかセット、また、シェアハウスとか、いろんな形で若者が住みたくなるような町並みをお願いしたいと。そうなれば、ちょうど国土交通省の関係で先ほども出ましたコンパクトシティだとか、スマートウェルネス住宅・シティとか、今またバリアフリーユニバーサルデザインの推進とかで、その中のスマートウェルネス住宅・シティ、これも毎回出てくる高齢者向け住宅とか、サービス付高齢者向き住宅等の供給を促進するということで、国土交通省もかなりの力の入れようでございます、公的賃貸住宅団地の再生とか福祉拠点化を推進するということも聞いておりますので、ぜひこの辺も含めて先ほど申し上げたように、紫波町でないんですが、市役所、図書館、歴史民俗資料館を含めていろいろな形でできる物語、ストーリーをつくっていただきたいと、こう思ってるんですが、その辺の考えはどう総合戦略や総合計画に結びついていくのか、その辺を教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

藤田企画財政課長。〔企画財政課長 藤田年明君登壇〕

○企画財政課長（藤田年明君）

お答えいたします。

確かに国のほうでは高齢者の首都圏から地方への移住ということで、かなり積極的な方向性を出してるというのも事実であります。ただ、その一方で、やはり制度設計というのは、まだこれからということでもあります。

そういう中では、今回の総合戦略の中でも糸魚川市版ＣＣＲＣ構想の調査検討ということで、制度が固まってから取り組むのでは、やはり遅い部分もあると思いますので、首都圏の都市との交流

も含めて早い段階から、調査研究のほうには取り組んでまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひそういうのも含めてやっていただきたい。

それと特別委員からも提案している開発公社とか、まちづくり会社、それと先ほど紫波町のことを言わせてもらったんですけど、民間で取り組めるものは民間で取り組む。一緒になってタイアップして公民連携の事業も含めてやっていただきたいなと、こう思っておりますし、研究するので徳島県の神山町ですか、これもやっぱり文化と芸術も含めてあるんですが、やっぱり大南さんですか、すばらしい人がおって、アーティスト・イン・レジデンス、ワーク・イン・レジデンスとか、やっぱりサテライトオフィス、IT企業、これかなり来ていただいとると。

それともう1つ、神山塾ですね、塾、これは求職者を支援している方なんですけど、その中でやっぱり若者サミットとか結いプロジェクト、大学生とかも含めてワークショップやってる。この辺でまた産業振興、教育文化、保健福祉などの施策でも、その辺も含めていろいろな形をやってるということを知っているんですが、政府も神山町をお手本にという案も出しているんですが、この周辺も含めて。

今、こっちの11番にも入ります。公共施設の旧学校跡地とかいろいろな形で、まだ使われてない、これからまた学校とか空いてくるところも含めて、総トータルで糸魚川をどうしたらいいかということも含めて、各谷々も含めて、どうゾーン別に含めてやればいいのかという。やっぱり総合戦略にはその物語、ストーリーをつくっていただきたいと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

藤田企画財政課長。〔企画財政課長 藤田年明君登壇〕

○企画財政課長（藤田年明君）

議員おっしゃるとおりと思っております。

ただ、やはりそういった計画をつくるっていう部分においては、いわゆる地域特性なり、そういうものを分析することも必要ですし、住民とのコンセンサスを市とどういう形でとっていくか、そういう部分も重要になるというふうに思っております。

そういう中では、今進めておる地域づくりプランというのは、非常に重要な位置づけになると思いますし、逆に、地域づくりプランでもカバーできない、さらに個々の集落、複数の集落、そういった部分での取り組みというのにも必要になると思います。

そういう中で、行政としてもさらに検討していかなければいけない部分として、先ほど来、出ている地域の小さな拠点づくりとか、コンパクトシティ、それから公共施設の適正配置のあり方、それから活用、そういったものをトータルで考えながら地域づくり、まちづくりというのを進めなければいけないというふうに思っております。

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員の一般質問途中ではありますが、昼食時限のため暫時休憩をいたします。
再開を午後１時といたします。

午後０時００分 休憩

午後１時００分 開議

○議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

午前中に引き続き、五十嵐議員の一般質問を続けます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

午前中に引き続きやらせていただきますが、８番目の企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大ということ。

の企業の地方拠点強化策では、地方拠点の強化の動きを支援する地方拠点強化策について、糸魚川市としてはどういう取り組み状況なのかと、にあります遠隔勤務、サテライトオフィス、テレワークの促進、これも神山町、先ほども言わせてもらいましたが、そういうような動きで、市としてどのように取り組みを評価し、取り組んでいくつもりなのか、教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

前段の地方拠点化策でございますけども、現在、県におきましては地方再生計画が取りまとめられているところでありまして、本社機能、生産機能の移転は、雇用増大に加えて地域への経済波及効果が期待されております。このような動きがあった場合には県と連携しながら、対応してまいりたいというふうに考えております。

後段のほうのサテライトオフィスでありますけども、午前中にもお話がありました徳島県の神山町、これにつきましては、まちづくりのリーダーとなります大南さんが、長年かけてサテライトオフィスに結びついたということにつきましては、私も建設産業常任委員会の皆さんと県外視察をさせていただいたところであります。

市といたしましても、神山町の取り組みは非常に参考になるものと考えております。実は最近、田んぼオーナー制度を市のほうで取り組みをさせていただいておりまして、今年度からでありますけども、能生地域で生産法人で、１企業取り組んでいただいております。その企業の関係で、市内にサテライトオフィスに近い支社の進出が１件あったということでございます。サテライトオフィスの促進に向けて、既存の企業誘致関連の補助金の要件見直しなども、今後、行ってまいりたいと思っておりますし、サテライトオフィスに近い支社の進出、そういうところから、また関連する企

業に情報を流していただいて、糸魚川でサテライトオフィスのようなものがふえていくことを願うところとあります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひそういうネットワークも含めて、人の縁というか、その辺も含めてやっていただきたいと思いますし、政府関係機関の地方移転に向けても旧学校跡地とかいろいろな面もございますので、ぜひ県と一体となって、地方再生計画に取り組まれるということなんで、県並びに国も一体になって、糸魚川市としてどういうものかいいののかも含めて、しっかりとやっていただきたいと思うんですが、その辺についていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

藤田企画財政課長。〔企画財政課長 藤田年明君登壇〕

○企画財政課長（藤田年明君）

お答えいたします。

この政府機関の移転につきましては、国や県に情報収集しておりますけども、今回の移転につきましては、とにかく国の機関にとって移転することが、現状よりメリットがある、そういうことを示すことが必要であるという非常に大変厳しい条件がつけられております。

こういったことを短期間で条件を整理することというのは、本当に財政負担も生じることから、今回については断念せざるを得ないものと考えております。

また、今回の誘致につきましては、誘致提案については県がすることとなっており、県が情報収集する中で可能性のある機関として、今回、3つの機関を誘致するという提案書を提出したものであります。

ただ、今後につきましては、この政府機関に限らず機会を捉える中で、その他の研究機関、民間も含めて研究機関等の誘致について取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひお願いしたいと思います。

それで関係する企業等における地方採用とか就労の拡大で、総合戦略にはなかった福祉関連とか、福祉関連は高齢者ＣＣＲＣ構想とかあるんですが、障害者の福祉施設関連の障害者の就労は入ってなかったと思うんですね。ぜひその辺も含めて、今、三条市ですか、障害者就労促進へのタグということで、東京の民間会社と4つの社会福祉法人と協定を結んで事業所開設、直接の雇用も行っているということですから素晴らしい事例もあるんで、そういうのも目がけてやっていただきたいと思うし、ささえあいプランの中にもありますように、基幹相談支援センター、今年度立ち上げですか、その辺も含めて子供は減ってるんですが、障害者はふえるばかりで、ワークセンターにしうみや、

いろいろな作業所がバンク状態になってるということもお聞きしとるんで、それも就労に結びつけるような形が必要だと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

加藤福祉事務所長。〔福祉事務所長 加藤美也子君登壇〕

○福祉事務所長（加藤美也子君）

お答えいたします。

障害者の就労支援につきましては、今、糸魚川市内の中で好望こまくさと、ワークセンターにしようみでやっている状況でございます。

また、今、議員からご指摘のありました三条市の状況につきましては、今お聞きいたしましたので、どんなふうなことをやっているのか、研究させていただきたいというふうに思っています。

また、障害者の一般就労に向けての支援につきましては、就労移行支援事業の中でやっておりまして、その中で計画相談をしながら、その方にとって一般就労がどういうふうな道をたどっていけばいいかということ、関係支援者の中で相談をしながら進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○17番（五十嵐健一郎君）

ぜひ。ワークセンターにしようみに、ジョブコーチ1人になっていただいた、そういうのもふやしていくのも必要ですし、企業の雇用にぜひ結びつけていっていただきたいと、こう思っております。

それと11番の地域公共交通網形成計画でございますが、この中で大系線の電化、これもこの前、載ってましたが、4県の知事が連携確認の中でリゾートトレインですか、走る計画で、前向きな議論を行っているということなんで、私はこの総合戦略5年間の中でなく、ずっと2060年ぐらいまで考えれば、大系線の電化も必要になってくるんでないかと。それは首都圏の大地震とか直下型地震、南海トラフとかいろいろな形でなってくれば、やっぱり都会から離れる方々がふえてくると思うんで、そこにはやっぱり南小谷から糸魚川までの間も含めて電化も必要なんじゃないかと、こう思っておりますし、リゾートビューふるさとが大系線の南小谷駅までハイブリッドシステム搭載でやとるんですね。ぜひその辺も含めてどう考えているのか、北アルプス日本海広域観光連携会議にもぜひ提案していただきたいと思うんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

リゾート列車の関係につきましては明年、平成28年には、えちごトキめき鉄道のほうで新しく導入するというような話がございまして。それが現在のところ、えちごトキめき鉄道の管内だけをイメージしておりますけれども、大系線を含めて沿線の周遊につながり、観光に結びつくような取り

組みを考えていきたいということで、私どもはえちごトキめき鉄道、ＪＲへも働きかけをしてまいりたいというふうに思っております。

また、大系線の電化につきましては、以前に電化ということでの働きかけをした状況もございますけれども、トンネル構造自体に電化に対応できるような状況ではないというようなＪＲの話もございまして、投資対効果の面で非常に難しいという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

ぜひ、そういう面も含めて長期ビジョンの中、総合計画もございますし、いろいろな形で取り組んでいくべき課題かと思うんで、ぜひ研究もしていただきたいなと、こう思っております。

それとフリーゲージトレイン、泉田知事もフリーゲージの導入など、地元が一枚岩となれば県も動けると言っております。今こそ総合戦略の中に、いつになるかまだ未定ですが、今、糸魚川駅から直江津へ行くのがベターだという、飛んで県のほうから糸魚川さん、上越妙高駅どうですかと言われる前に発信していったらどうかと。やっぱり調査研究を独自にしながら、糸魚川駅がベストなんだということをやるべきだと、こう思っておりますし、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

フリーゲージトレインについては県のほうも前向きでございまして、実用化されればぜひとも新潟県まで走らせたいというような意向がございまして、それに基づきまして、当市といたしましても、ことし独自に研修会を開いたり、今後とも調査研究をしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

ぜひ。やっぱり相手がやる前に糸魚川は独自の調査も含めて、糸魚川はベストなんだということをぜひ発表していただきたいと、こう思いますし、来年度から北陸新幹線と湖西、北陸両線で導入を目指しとるわけなんですね。敦賀で研究しとるわけで、ちょっと九州新幹線長崎ルートでデビューを目指しとったんですが、昨年１０月に始めて１カ月でちょっとふぐあいを発生しとる原因解明中で、その辺もちょっとわからんのですけど、ぜひ調査研究して早目にできるような形を糸魚川独自でやっていただきたいと、こう思っております。それとＤＭＶも含めて、ぜひやっていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

デュアルモードビークルもＪＲ北海道ですか、断念したというような情報も得てはおりますけども、それらも含める中、長期的に実用化等を見ながら、やはり調査研究はしていかなければならないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

消防団員の女性団員を、ぜひ増加を図っていただきたい。

これ新聞にも載ったんですが、女性同士の誘い合いが大切で、入りたくなるようなメリットを示していただきたいと、こう思っておりますので、よろしくお願い申し上げまして、一般質問を終わらせていただきます。

○議長（倉又 稔君）

以上で、五十嵐議員の質問が終わりました。

次に、田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。〔１３番 田原 実君登壇〕

○１３番（田原 実君）

糸魚川２１クラブの田原 実です。

私は１３年前に糸魚川市議会に参加し、以来、毎回定例会にて欠かさず一般質問をさせていただき、今回で５０回目となります。

では、事前に提出しました発言通告書に基づき、以下、質問をいたします。

１、糸魚川東小学校区を中心とする地域の課題、糸魚川市の対応について。

(１) 学校、保育園周辺への防犯カメラの設置、子供の見守りについて伺います。

(２) 通学路の交通安全対策について伺います。

(３) 糸魚川東小学校内の遊具「ひすいブリッジ」の安全性確保について、また、市内公共施設内に設置された遊具の安全性確保について伺います。

(４) 市道蓮台寺線とえちごトキめき鉄道日本海ひすいラインが交差する地下道の拡幅、まがたま跨線橋の改修など、鉄道で分断されている南北の連絡と災害時の避難路確保について伺います。

(５) 京ヶ峰区東側傾斜地の災害防止、排水路の改修について伺います。

(６) 蓮台寺パーキングから直接市街地に連絡する道路建設について伺います。

(７) 押上「ひすい海岸」のジオパークにおける活用と整備について伺います。

(８) (仮称) 押上駅の新設について、新駅を核とした新しいまちづくりについて伺います。

２、新幹線開業への対応(その５) 観光スポットを巡るバスの活用、バス会社との連携について。

(１) 北陸新幹線開業に対応した路線バス、定期観光バス、シャトルバスその他の活用など糸魚川市の対応について伺います。

(２) 糸魚川駅周辺の見所を巡るのに便利なバスの運行について伺います。